

産業廃棄物 処理計画実施状況 報告書記載例

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

〇〇年〇〇月〇〇日

鹿児島市長 殿

提出者
住 所 鹿児島市山下町11番1号
氏 名 鹿児島商事株式会社
代表取締役 桜島一郎
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 099-224-1111(234) 担当: 山下

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、 〇〇年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

| | | | |
|--------------------------|--|---------------------------|-------|
| 事業場の名称 | 鹿児島商事 東開工場 | | |
| 事業場の所在地 | 鹿児島市東開町3番地1 | | |
| 事業の種類 | 大分類: 製造業 中分類: プラスチック製品製造業 小分類: 工業用プラスチック製品製造業 | | |
| 産業廃棄物処理計画における計画期間 | 〇〇年4月1日から 〇〇年3月31日 | | |
| 産業廃棄物処理計画における目標値 | | | |
| 項目 | 目標値 | 項目 | 目標値 |
| 排 出 量 | 1,200 t | 全処理委託量 | 610 t |
| 自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 | 0 t | 優良認定処理業者への処理委託量 | 0 t |
| 自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 | 0 t | 再生利用業者への処理委託量 | 0 t |
| 自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 | 640 t | 認定熱回収業者への処理委託量 | 0 t |
| 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 | 0 t | 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 | 0 t |
| ※事務処理欄 | | | |

法人の名称及び法人の代表者又は処理計画書の作成単位である事業場代表者等について正確に記入してください。
※押印は不要です。

事業の種類については日本標準産業分類業種(小分類まで)を記入してください。
◆日本標準産業分類業種については総務省ホームページで、サイト内検索できます。(平成26年4月1日施行の分類が最新です)

事業所の名称には産業廃棄物(特別管理産業廃棄物)を実際に排出している事業所名(建設業の場合は支店名等)を記入してください。

所在地には、事業場又は支店等の所在地住所を記入してください。

目標値については、前年度に提出した産業廃棄物処理計画書に記載した目標値を記入してください。

前年度の実績値を記入してください。
 (産業廃棄物の種類が2種類以上ある場合は、種類別の内訳を別紙「実施状況内訳書」に記入し、この表には全体の合計量を記入してください。)

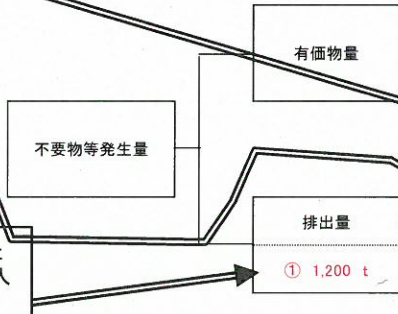
当該事業所から発生した産業廃棄物のうち、中間処理せず直接自社で再生利用した量を記入してください。

当該事業所から発生した産業廃棄物のうち、中間処理せず直接自社で最終処分場に埋立処分した量を記入してください。

当該事業所から発生した産業廃棄物の総量を記入してください。

当該事業所から発生した産業廃棄物のうち、自社の施設で中間処理した産業廃棄物の総量を記入してください。

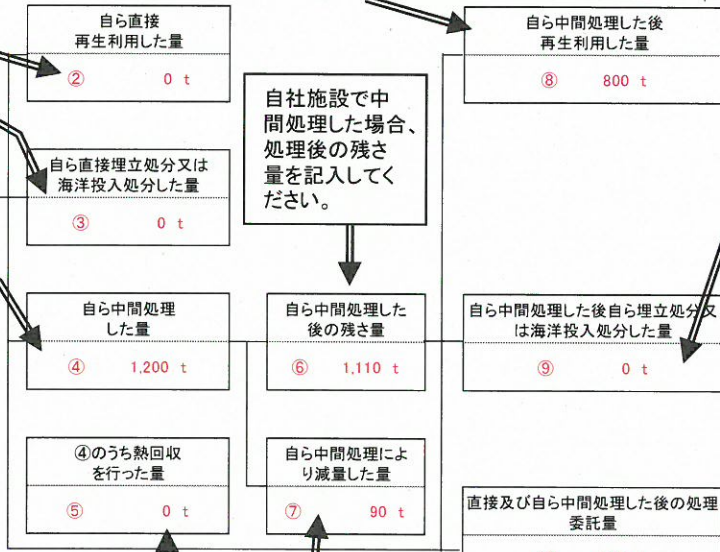
計画の実施状況



| 項目 | 実績値 |
|----------------------------|--------|
| ①排出量 | 1,200t |
| ②+⑧自ら再生利用を行った量 | 800t |
| ⑤自ら熱回収を行った量 | 0t |
| ⑦自ら中間処理により減量した量 | 90t |
| ③+⑨自ら埋立処分又は海洋搬入処分を行った量 | 0t |
| ⑩全処理委託量 | 310t |
| ⑪優良認定処理業者への処理委託量 | 0t |
| ⑫再生処理業者への処理委託量 | 0t |
| ⑬熱回収認定業者への処理委託量 | 0t |
| ⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 | 0t |

(産業廃棄物の種類:木くず、廃プラスチック類 2種類の合計)

自社施設で中間処理した後の残さ量のうち、自ら利用し、又は他人に再利用目的で売却した量を記入してください。



自社施設で中間処理した場合、処理後の残さ量を記入してください。

自社施設で中間処理した産業廃棄物のうち、自社で熱回収を行った産業廃棄物の中間処理前の量を記入してください。

自社施設で行った中間処理により減量化した量を記入してください。(④欄から⑥欄を引いた量が入りません。)

自社施設で中間処理した後の残さ量のうち、自社の最終処分場で埋立処分した量を記入してください。

産産業廃棄物業者に処理を委託した量のうち、再生処理業者へ処理を委託した量を記入してください。

産産業廃棄物業者に処理を委託した量のうち、優良認定処理業者へ委託した量を記入してください。

産産業廃棄物業者に処理を委託した量のうち、認定熱回収設置者以外で熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量を記入してください。

| | |
|-------------------------------|-------|
| ⑩のうち再生利用業者への処理委託量 | ⑫ 0 t |
| ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量 | ⑬ t |
| ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 | ⑭ 0 t |

| | |
|---------------------|---------|
| 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 | ⑩ 310 t |
| ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量 | ⑪ t |

産産業廃棄物業者に処理を委託した量のうち、優良認定処理業者へ委託した量を記入してください。

報告書様式には、廃棄物の種類1種類までしか記載することができません。
2種類以上の廃棄物の種類がある場合は、この別紙を使用してください。

※集計のの都合上、産業廃棄物の種類が1種類でも、この別紙をご使用くださいますよう、ご協力お願いいたします。

別紙
実施状況
内訳書

産業廃棄物処理計画実施状況報告書 廃棄物の種類が2品目以外ある場合この表を使用してください

| | | 数字(t) | | | | | | | | | | 数字(t) | | |
|-----|--------------------------------|-------|-----|----------|----|---------|-----|----|------------|----|--|-------|--------------------------|-------|
| | | がれき類 | 木くず | 廃プラスチック類 | 金属 | ガラコン(※) | 紙くず | 汚泥 | 建設混合廃棄物(※) | 廃油 | | 合計 | 項目 | 実施値 |
| ① | 排出量 | | 100 | 1,100 | | | | | | | | 1,200 | ①排出量 | 1,200 |
| ② | 自ら直接再生利用した量 | | | | | | | | | | | 0 | ②+⑧自ら再生利用を行った量 | 800 |
| ③ | 自ら直接埋立処分した量 | | | | | | | | | | | 0 | ⑤自ら熱回収を行った量 | 0 |
| ④ | 自ら中間処理した量 | | 100 | 1,100 | | | | | | | | 1,200 | ⑦自ら中間処理により減量した量 | 90 |
| ⑤ | ④のうち熱回収を行った量(内訳) | | | | | | | | | | | 0 | ③+⑨自ら埋立処分を行った量 | 0 |
| ⑥ | 自ら中間処理した後の残さ量 | | 10 | 1,100 | | | | | | | | 1,110 | ⑩全処理委託量 | 310 |
| ⑦ | ④-⑥自ら中間処理により減量した量 | | 90 | | | | | | | | | 90 | ⑪優良認定処理業者への処理委託量 | 0 |
| ⑧ | 自ら中間処理後再生利用した量 | | | 800 | | | | | | | | 800 | ⑫再生処理業者への処理委託量 | 0 |
| ⑨ | 自ら中間処理後、自ら埋立処分した量 | | | | | | | | | | | 0 | ⑬熱回収認定処理業者への処理委託量 | 0 |
| ⑩ | 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 | | 10 | 300 | | | | | | | | 310 | 熱回収認定処理業者以外の熱回収業者への処理委託量 | 0 |
| ⑪ | ⑩のうち、優良認定処理業者への処理委託量 | | | | | | | | | | | 0 | | |
| ⑫ | ⑩のうち、再生利用業者への処理委託量 | | | | | | | | | | | 0 | 自動的に集計されます | |
| ⑬ | ⑩のうち、熱回収認定処理業者への処理委託量 | | | | | | | | | | | 0 | | |
| ⑭ | ⑩のうち、熱回収認定処理業者以外の熱回収を行う業者への委託量 | | | | | | | | | | | 0 | | |
| 参考1 | ⑩のうち、焼却施設への処理委託量(⑩の内訳) | | | | | | | | | | | 0 | | |
| 参考2 | ⑩のうち、焼却以外の中間処理施設への処理委託量(⑩の内訳) | | | 300 | | | | | | | | 300 | | |
| 参考3 | ⑩のうち、埋立処分業者への処理委託量(⑩の内訳) | | 10 | | | | | | | | | 10 | | |

※ガラコン=ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(廃石膏ボードもガラコンで記入してください)

※建設系の廃棄物で、品目ごとの仕分けが不可能な場合は、建設混合廃棄物として記入してください。

◆参考1~3は、どのような業者に委託されているかを聞くものです。(⑩処理業者への委託量=参考1+参考2+参考3)

◆mlは、トンに換算し記入してください

(換算計数は、市ホームページ中、産業廃棄物管理票交付等状況報告書の欄に掲載してあります。)